

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・新聞広告やインターネットを見たという連絡が多く、口コミで評判が広がっていると考えている。これが1番効いている。
	○	スーパー（経営者）	・4月から、新たな病院で売店の仕事が決まった。準備のため、3月からは忙しくなる。20%ほど売上が増える予想である。
	○	コンビニ（経営者）	・競合店出店により現状は落ち込んでいるものの、今後は来客数等は徐々に回復すると予想している。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	・2～3か月後は今月よりは良くなる。皆の給料も上がっていくとみているが、いろいろな不確定要素も含まれているため、慎重に対応したい。単価自体が上がっていくので、相対的には利益は上昇する局面だとみている。
	○	高級レストラン（経営者）	・急激な景気回復は見込めないものの、賃金水準は上昇傾向である。人流増加の時期もあいまって景気の回復が見込まれる。
	○	観光名所（職員）	・旅行会社の企画募集ツアーの設定についての問合せが増えている。
	○	遊園地（職員）	・パブリシティの獲得や各種イベントの開催等、積極的な集客施策の実施や情報発信を行い、より多くの来園客を期待している。
	□	商店街（代表者）	・中小の商店街は今後どうなっていくのか本当に悩みの種である。早くいろいろと考えないといけない。このままだと年々、客が来なくなってしまう。
	□	商店街（代表者）	・春節時期のインバウンドのにぎわいは、地方都市の商店には恩恵がない。商材の値上げ通知が絶えず、客に受け入れられるか心配である。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・季節的に、多少は商材の動きがあると期待したいが、消費者ニーズ、購入方法等に変化がみられ、当店としてはますます厳しくなりそうである。大きな動きは期待できない。
	□	百貨店（経理担当）	・原材料価格の上昇やガソリン等補助金の縮小、野菜類の高騰等で、依然として消費マインドは冷え込んでいる。必要な物だけを安く買うという方向にあるなか、百貨店の役割を明確にしていけないと厳しくなる。地方ではインバウンド需要に期待はできない。
	□	百貨店（営業担当）	・ここ数か月のことだが、良くなる要素はなかなか見つからない。賃上げの一方、ガソリン価格等の上昇があり、極端に悪くなるようなこともない。
	□	百貨店（店長）	・現在の物価高が、そう簡単に収まるとは考えられない。客の購買行動からも節約していることが見受けられる。また、当地では、大型店3店が閉店予定で、客の減少が見込まれる。
	□	スーパー（経営者）	・各種値上げが続き、ガソリン価格も上昇しており、消費マインドの変化に不安がある。
	□	コンビニ（経営者）	・暖かい気候になってくるが、2月は割と降雪も多くやや厳しい。もっと暖かくなれば別だが、やはり年末頃から3か月後くらいまでは、変わらない。
	□	コンビニ（経営者）	・売上が増えるようなイベントはなく、現状のままでいくとみている。現状よりも悪くなると困る。早く野菜や他の商材の価格高騰が収まってもらいたい。
	□	コンビニ（店長）	・来客数は特別大きく減っているわけではないため、天候が良くなり、購買が若干伸びてくれれば良くなる。ただし、これだけ天候の良い日が続いてもやや悪い状態なので、余り傾向は変わらない。
	□	家電量販店（店長）	・社会情勢や物価高の影響もあり、購買意欲が湧いてこない。
	□	自動車備品販売店（従業員）	・物価高で客足が伸び悩み、良くなるどころまではいかない。
	□	一般レストラン（経営者）	・今年は当店開業20周年の節目の年で、いろいろと施策は考えているが、気温等の影響により、大幅な回復は見込めそうにない。

□	スナック（経営者）	・今月の新年会シーズンは、さほど大きな流れはなく、これから先は余りイベントもないため、なかなか売上の的には厳しいのではないかとみている。
□	観光型旅館（経営者）	・原材料費や人件費の価格転嫁のため、宿泊料金を10%程度上げたが、全国で宿泊料金が上がっているため、料金への理解が得られている。今まで過当競争で徐々に収益が減少する宿泊業界だったが、ようやく適正価格での販売が定着しつつある。宿泊客はやや減少しているものの、売上は若干上昇している。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・2月も季節要因で、客が非常に来館しにくい時期となっている。2月は1月の正月のような特定日がないため、客足は鈍る。ただし、唯一の動きとして、国立大学の受験日の時期は県外からの宿泊客が増える。トータルでは今月と変わらない。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・3か月前と宿泊数の動きが変わっていない。インバウンドがかなり多い。
□	タクシー運転手	・昼間の利用は高齢者の通院や買物が8割で、今までよりも低調である。夜は県庁所在地とは違って田舎なので、繁華街は少ない。歩けるような近くの店や自宅で飲むように節約している人が多い。夜12時を過ぎるとタクシーの動きはなくなる。
□	通信会社（社員）	・年度末に向け転勤や新入学等の好材料はあるものの、飽くまで一時的なもので、長期での見通しはまだ不透明な状況である。
□	ゴルフ場（副支配人）	・食材費、燃料費、その他全ての経費が上昇しているなか、プレー料金を転嫁することが難しい状況が続いている。今後も周辺ゴルフ場の様子に変化がなければ、変わらない。
□	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・冬休みが終わり、春休みまでの間は閑散期になるが、団体予約が少しずつ増えてきている。
□	その他サービス [クリーニング]（経営者）	・原油、人件費、光熱費が高く、困っている。
□	住宅販売会社（経営者）	・中古別荘の販売は、以前と比べて高価格帯の物件が売れず、価格は低下傾向にある。
▲	コンビニ（経営者）	・1月は前年と比べ売上がやや下がっている。物価高の影響か、いつもおにぎりを3個買う客が2個に減らしていたりするのをみると、これから良くなるとは考えにくい。
▲	乗用車販売店（経営者）	・物価高や金利上昇の動きが販売台数の減少につながるのではないかと懸念している。
▲	乗用車販売店（総務担当）	・物価高騰が続く感覚がある。
▲	一般レストラン（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。全国的にみても好景気とは実感できないのではないかと。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・客足が戻ったようにも考えられるが、客の様子からは一時的な雰囲気にもみえる。現に、先の予約の動きは鈍く、前年の能登半島地震の影響があった時期とさほど変化がない。
▲	旅行代理店（副支店長）	・一定の需要増加は継続していると実感しているが、物価高による旅行代金の値上がりや製造業の景気に陰りが見え始め、少しずつではあるものの、受注量が減少している。
▲	通信会社（社員）	・物価高の影響が続く限り、当業界は節約すべきもののカテゴリに入っているため、悪くはなっても良くなることは難しく、厳しい現状が続く。
▲	ゴルフ場（経営者）	・増税、過剰なインフレ、金利上昇、公共投資の据置きと、景気浮揚策とは逆方向に進んでいる。
×	商店街（代表者）	・現状のままでは店仕舞いする店が増えていく。
×	スーパー（店長）	・地方小売店では、ガソリン価格が高いことも客足が向かない要因となる。物価高の状況が続いており、改善がみられない。
×	コンビニ（エリア担当）	・利上げが発表されたが、企業であれば資金のやりくりで困り、一般家庭なら住宅ローンの返済額が大きくなるため、他の消費にお金を回せなくなる。結局は可処分所得が上がらない限り、消費は拡大しない。

	×	スナック（経営者）	・悪い事案が重なり過ぎており、新型コロナウイルスの感染拡大中の最悪の時期並みに先行きが見えない。新型コロナウイルス感染症発生の最初の頃に緊急で貸してもらった融資の返済が、これまでで1番つらい。
企業 動向 関連  (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体需要が回復し、良くなる。
	○	*	*
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・まとまった受注の話はあるものの、春以降の話のため、近々の予想には良い材料がない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・各種値上げが依然として続き、消費者の生活防衛行動も強いままだとみられる。
	□	建設業（経営者）	・本格的な冬を迎えて、受注量は落ちてきて、景気は現状と変わらないと見込んでいる。
	□	金融業（調査担当）	・非製造業の業況感は、観光関連業が引き続き底堅く推移するとみているが、機械器具卸や貨物等の製造業関連では慎重な見通しとなっている。製造業では自動車関連の持ち直しが期待されるが、電子部品デバイスなどでは回復に時間を要す見込みである。
	□	金融業（経営企画担当）	・大手企業の賃金は上昇しているものの、地方の中小企業の賃金上昇は遅れている上に物価上昇もあるため、変わらない。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・物価高、原油価格の高騰、ガソリン補助金の縮小等、経費支出の増加が続いている。折込出稿は通販関連が前年比微増となっているが、全体的には前年比微減が見込まれる。金利の上昇等、消費者や企業の動向が不透明な状況は続いている。
	▲	食料品製造業（営業統括）	・原材料費や人件費の高騰等、原価が上昇しているため製品価格を上げているが、前年並みの売上では厳しい状況に置かれている。また、海外への輸出も試みているが、結果が出るまでにはかなり時間が掛かりそうである。
	▲	食料品製造業（総務担当）	・今後も原材料価格の値上がりが見込まれるため、やや悪くなる。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・現状、複数製品で物流の鈍さがある。活気が出てくるまでには時間が掛かりそうである。
	▲	電気機械器具製造業（従業員）	・ガソリン、灯油等、燃料の値上げが、今後どのように響いてくるか心配である。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・毎年、地金価格が高騰するなかで、既に店頭での製品価格が大幅に上昇している。小売店はどこも1月の売上は芳しくないことから、更に売上は厳しくなるとみている。宝飾品離れも起きていて、先行きに明るさがみえない。	
雇用 関連  (甲信越)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・半導体関連等の主要製造業の求人が増えるとともに、大手スーパーの進出が地域経済をけん引する可能性がある。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルス感染症発生以降、製造業の求人は、現行製品の改良版が主となる回路、制御等の業種の求人はあるものの、新製品をデザインする機械、筐体設計の求人が乏しく、新製品への注力度が気になるところである。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・日々の生活が大変で、消費にお金が回らない。
	▲	職業安定所（職員）	・燃料費や物価の上昇、人件費増加の影響、政府の経済政策が流動的であることなど、国内経済の先行きが見通せない状況であることに加え、今後は米国新政権が及ぼす日本経済への影響や中国景気の動向などが懸念される。
	▲	職業安定所（職員）	・新規求人数の前年同月比が、6か月連続で減少している。
	×	—	—